



病児保育だより



病児保育室 やまさきこどもクリニック
Teddy's Yamasaki Kodomo Clinic

2025年 2月

昨年末よりインフルエンザの流行が続いている中、COVID19感染の微増あり、マイコプラズマもまだ散見します。ヒトメタニューモウイルスの中国での大流行も伝播が懸念されています、、、。今回は「溶血性連鎖球菌」通称「溶連菌」感染について今一度おさらいしたいとおもいます。覚えておいていただきたい症状・病態・罹患時の対応を紹介します。



「溶連菌」ってなあに？

溶血性連鎖球菌(以後は溶連菌)とは10~20%の健常児の「のど」「腸管」「皮膚」に存在する常在菌(悪さをしていない菌)ですが、ときに「咽頭炎や扁桃炎」などを引き起こして問題となります。

症状としては、発熱、咽頭炎(のどに膿が付いたり)、イチゴ舌(舌がブツブツ)などがみられることがあります。俗に言う「風邪」との区別は難しいですが、咳や鼻汁は出にくいです。

【感染経路・潜伏期間】

接触、飛沫から感染をおこします。「家庭」や「保育園・幼稚園」「学校」などで多数の人が感染をおこすことがあります。

潜伏期間は、「2~5日間」とされています。

診断と治療法は？



迅速検査で診断は可能です。しかし溶連菌が悪さをしなくても陽性が出る場合があります(なぜなら健常児にも存在する菌だから)。

つまり「溶連菌の検査が陽性だから原因です」とは限りません!なので、かかりつけの先生が必要と考えたときに検査をしてもらいましょう。

細菌感染なので、抗菌薬の内服が治療となります。

細菌の感染は、生涯1回だけでは済まないで、再度感染するともあります。

重症化・合併症は？

合併症として、肺炎・髄膜炎のような重症化からくるものと「猩紅熱⇒リウマチ熱」や「感染後糸球体腎炎」などの続発症もあります。

【ここ数ヶ月間に当院病児保育をご利用された方の病気】

- 「急性胃腸炎」「急性上気道炎」
 - 「手足口病」「インフルエンザ」
 - 「マイコプラズマ感染症」
- などなど、

いつから登園・登校していいの??

「治療を始めてから24時間以降、解熱していれば」とされているので、早くて診断治療2日後から登園・登校できます。



やまさきこどもクリニック
病児保育室 Teddy's
TEL: 0956-37-8813